

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

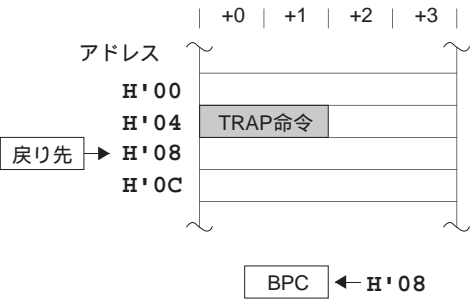
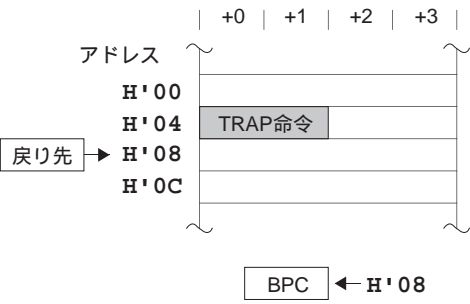
# MESC TECHNICAL NEWS

No.M32R-06-9803

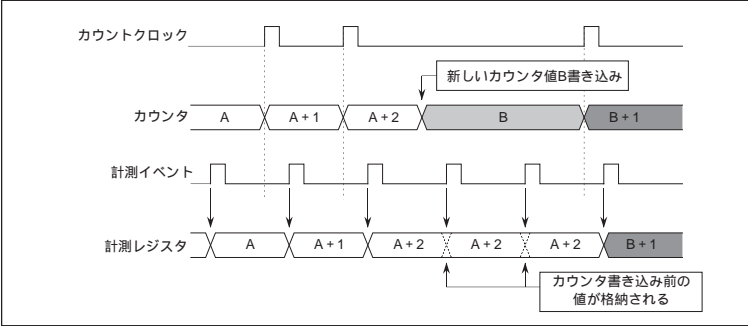
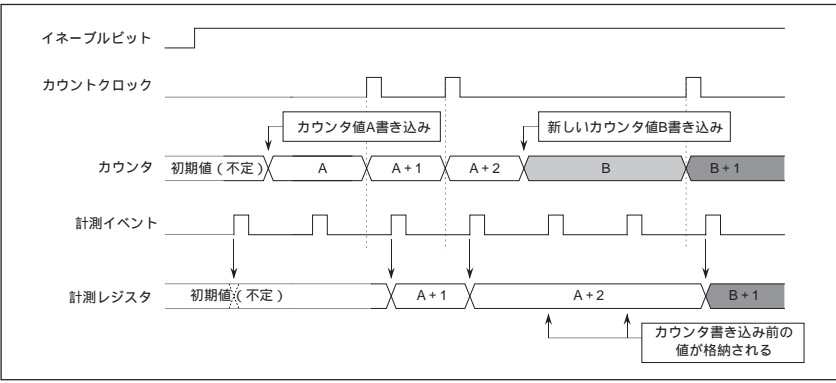
## M32150F4TFPユーザーズマニュアル正誤表

1997年11月に発行されました「M32150F4TFPユーザーズマニュアル」(印刷番号：HU-081A)に、一部内容の訂正がありましたのでお知らせいたします。本ユーザーズマニュアルをご使用の際は、留意のほどよろしくお願いいたします。

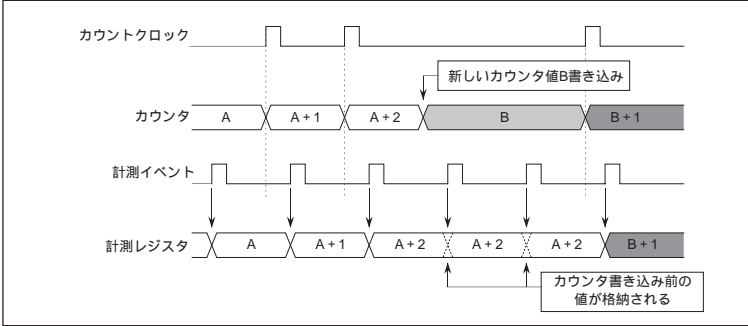
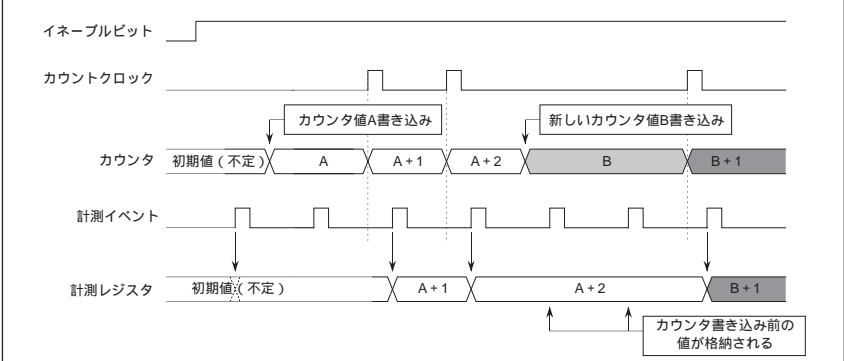
添付資料：M32150F4TFPユーザーズマニュアル正誤表.....10枚

ページ	箇所		内容
4 - 20	4.10.1 (3) PCの退避	(誤)	<p>(3) PCの退避</p> <p>トラップ命令を実行すると、( TRAP命令のPC値 + 4 )の値がBPCレジスタにセットされます。たとえば、4番地に「 TRAP命令 」が置かれた場合は、BPCレジスタに8がセットされます。同様に6番地に置かれた場合は、BPCレジスタには10がセットされます。BPCレジスタのビット30の値は、<u>アドレス例外</u>を起こした命令がワード境界上にあるか( BPC[30]=0 )、ワード境界上にないか( BPC[30]=1 )を示します。</p>
4 - 21	図4.10.1 トラップ ( TRAP )の戻り先の例	(誤)	 <p>図4.10.1は、トラップ命令の戻り先の例を示しています。アドレス範囲 H'00 から H'0C まで表示され、4番地 (H'04) に「TRAP命令」が配置されています。戻り先は H'08 に設定されています。BPCレジスタの値は H'08 と示されています。</p>
		(正)	 <p>図4.10.1は、トラップ命令の戻り先の例を示しています。アドレス範囲 H'00 から H'0C まで表示され、4番地 (H'04) に「TRAP命令」が配置されています。戻り先は H'08 に設定されています。BPCレジスタの値は H'10 と示されています。</p>

ページ	箇所	内容
10-126	図10.5.3 TMS計測入力 の動作例	<p>(誤)</p> <p>イネーブル (イネーブルビットへの書き込み)</p> <p>計測 イベント0 発生</p> <p>計測 イベント1 発生</p> <p>オーバーフロー発生</p> <p>計測 イベント0 発生</p> <p>計測 イベント1 発生</p> <p>カウントクロック</p> <p>イネーブルビット</p> <p>カウンタ</p> <p>H'FFFF</p> <p>H'0000</p> <p>H'8000</p> <p>H'C000</p> <p>H'6000</p> <p>H'D000</p> <p>計測0レジスタ</p> <p>初期値 (不定)</p> <p>H'8000</p> <p>H'6000</p> <p>TIN15 割り込み</p> <p>計測1レジスタ</p> <p>初期値 (不定)</p> <p>H'C000</p> <p>H'D000</p> <p>TIN14 割り込み</p> <p>オーバーフローによる TMS割り込み</p> <p>注. 本図においては、詳細タイミング情報は含みません。</p>
		<p>(正)</p> <p>イネーブル (イネーブルビットへの書き込み)</p> <p>計測 イベント0 発生</p> <p>計測 イベント1 発生</p> <p>オーバーフロー発生</p> <p>計測 イベント0 発生</p> <p>計測 イベント1 発生</p> <p>カウントクロック</p> <p>イネーブルビット</p> <p>カウンタ</p> <p>H'FFFF</p> <p>H'0000</p> <p>不定値</p> <p>H'8000</p> <p>H'C000</p> <p>H'6000</p> <p>H'D000</p> <p>計測0レジスタ</p> <p>初期値 (不定)</p> <p>H'8000</p> <p>H'6000</p> <p>TIN15 割り込み</p> <p>計測1レジスタ</p> <p>初期値 (不定)</p> <p>H'C000</p> <p>H'D000</p> <p>TIN14 割り込み</p> <p>オーバーフローによる TMS割り込み</p> <p>注. 本図においては、詳細タイミング情報は含みません。</p>

ページ	箇所	内容
10-127	10.5.7 (2) TMS計測 入力使用 上の注意	<p>(誤) (2) TMS 計測入力使用上の注意</p> <p>TMS計測入力を使用する場合の注意点を以下に示します。</p> <p>計測イベント入力と、カウンタへの書き込みが同一クロックで重なった場合、カウンタには書き込み値がセットされますが、計測レジスタには(書き替え前の)アップカウント値が取り込まれます。したがって、リセット解除後からカウンタ起動(カウンタクロック発生)までの間にキャプチャ信号が発生した場合は計測レジスタの値は不定となります。</p> <p>カウンタへの書き込みからカウンタクロック発生までの間にキャプチャ信号が発生した場合、計測レジスタにはカウンタ書き込み前のカウンタ値が格納されます</p> <p>カウンタからの読み出し値は、カウンタクロックの発生の有無に関わらず、常にその時点でのカウンタ値が読み出されます。</p> <p>初期値は不定です。</p>  <p>図10.5.4 TMS計測入力使用上の注意点</p>
	(正)	<p>(2) TMS 計測入力使用上の注意</p> <p>TMS計測入力を使用する場合の注意点を以下に示します。</p> <p>計測イベント入力と、カウンタへの書き込みが同一クロックで重なった場合、カウンタには書き込みした値がセットされますが、計測レジスタには書き替え前のカウンタ値が格納されます。</p> <p>カウンタの初期値は不定です。リセット解除後からカウンタクロック発生までの間に計測イベントが発生した場合は、カウンタ値が不定のため計測レジスタへも不定値が格納されます。</p> <p>カウンタへの書き込みからカウンタクロック発生までの間に計測イベントが発生した場合、計測レジスタにはカウンタ書き込み前のカウンタ値が格納されます。</p> <p>カウンタからの読み出し値は、カウンタクロックの発生の有無に関わらず、常にその時点でのカウンタ値が読み出されます。</p>  <p>図10.5.4 TMS計測入力使用上の注意点</p>

ページ	箇所	内容
10-134	図10.6.3 TML計測入力 の動作例	<p>(誤)</p> <p>注: 本図においては、詳細タイミング情報は含みません。</p>
		<p>(正)</p> <p>注: 本図においては、詳細タイミング情報は含みません。</p>

ページ	箇所	内容
10-135	10.6.7 (2) TML計測入力使用上の注意	<p>(誤)</p> <p>(2) TML 計測入力使用上の注意</p> <p>TML計測入力を使用する場合の注意点を以下に示します。</p> <p>計測イベント入力と、カウンタへの書き込みが同一クロックで重なった場合、カウンタには書き込み値がセットされますが、計測レジスタには(書き替え前の)アップカウント値が取り込まれます。したがって、リセット解除後からカウンタ起動(カウントクロック発生)までの間にキャプチャ信号が発生した場合は計測レジスタの値は不定となります。</p> <p>カウンタへの書き込みからカウントクロック発生までの間にキャプチャ信号が発生した場合、計測レジスタにはカウンタ書き込み前のカウンタ値が格納されます</p> <p>カウンタからの読み出し値は、カウントクロックの発生の有無に関わらず、常にその時点でのカウンタ値が読み出されます。</p> <p>初期値は不定です。</p>  <p>図10.6.4 TML計測入力使用上の注意点</p>
		<p>(正)</p> <p>(2) TML 計測入力使用上の注意</p> <p>TML計測入力を使用する場合の注意点を以下に示します。</p> <p>計測イベント入力と、カウンタへの書き込みが同一クロックで重なった場合、カウンタには書き込みした値がセットされますが、計測レジスタには書き替え前のカウンタ値が格納されます。</p> <p>カウンタの初期値は不定です。リセット解除後からカウントクロック発生までの間に計測イベントが発生した場合は、カウンタ値が不定のため計測レジスタへも不定値が格納されます。</p> <p>カウンタへの書き込みからカウントクロック発生までの間に計測イベントが発生した場合、計測レジスタにはカウンタ書き込み前のカウンタ値が格納されます。</p> <p>カウンタからの読み出し値は、カウントクロックの発生の有無に関わらず、常にその時点でのカウンタ値が読み出されます。</p>  <p>図10.6.4 TML計測入力使用上の注意点</p>

## M32150F4TFPユーザーズマニュアル正誤表

ページ	箇所	内容
11 - 38	11.4 A-D変換器の 注意事項	(誤)
		(正) 下記注意事項を追加  A-D変換終了ビットの読み出しタイミング A-D変換起動直後にA-D変換終了ビット(単一モードレジスタ0のD5ビット、およびスキャンモードレジスタ0のD5ビット)を読み出す場合は、NOP命令などで1サイクル分タイミング調整してから読み出してください。
12 - 6	12.2.1 SIOr(n=0,1) モードレジ スタ	(誤)
		(正)

D	ビット名	機能	初	R	W
		●			
		●			
		●			
5	PSEL(パリティ選択) UARTモード専用	0: 偶数パリティ 1: 奇数パリティ	0		
6	STB(ストップビット長選択) UARTモード専用	0: 1ストップビット 1: 2ストップビット	0		
7	CHL(キャラクタ長選択) UARTモード専用, <u>パリティ無効選択時は必ず</u> <u>0にしてください</u>	0: 7ビットキャラクタ 1: 8ビットキャラクタ	0		
		●			
		●			
		●			

D	ビット名	機能	初	R	W
		●			
		●			
		●			
5	PSEL(パリティ選択) UARTモード専用, <u>パリティ無効選択時は必ず</u> <u>0にしてください</u>	0: 偶数パリティ 1: 奇数パリティ	0		
6	STB(ストップビット長選択) UARTモード専用	0: 1ストップビット 1: 2ストップビット	0		
7	CHL(キャラクタ長選択) UARTモード専用	0: 7ビットキャラクタ 1: 8ビットキャラクタ	0		
		●			
		●			
		●			



ページ	箇所		内容
15 - 4	15.3.1 RTD動作概要	(誤)	<p>15.3.1 RTD動作概要</p> <p>RTDの動作は、チップ外部から入力されたコマンドで指定されます。コマンドは、RTD受信データのビット12(注1)~ビット15により指定します。</p>
		(正)	<p>15.3.1 RTD動作概要</p> <p>RTDの動作は、チップ外部から入力されたコマンドで指定されます。コマンドは、RTD受信データのビット16~ビット19(注1)により指定します。</p>

ページ	箇所	内容																																																																																																																								
15-4	表15.3.1 RTDコマンド	<p>(誤)</p> <p>表15.3.1 RTDコマンド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">RTD受信データ</th> <th>コマンド</th> <th>RTD機能</th> </tr> <tr> <th>b12</th> <th>b13</th> <th>b14</th> <th>b15</th> <th>ニーモニック</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>VER ( VERify )</td> <td>継続モニタ</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>RDR ( ReaD RAM )</td> <td>リアルタイムRAM内容出力</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>WRR ( WRite RAM )</td> <td>RAM内容強制書き替え(ベリファイ付き)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>RCV ( ReCoVer )</td> <td>暴走状態からの復帰 (注2, 注3)</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>システム予約(使用禁止)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)</p> <p>注1. RTD受信データのビット12は、実際にはコマンドレジスタには格納されず、RCVコマンド以外は、Don't Careとなります(ビット13~15がコマンド指定として有効です)。          注2. RCVコマンドは必ず2回連続して送信してください。          注3. RCVコマンドの場合は、ビット12~15以外のビット(ビット0~11, 16~31)をすべて"1"にしてください。</p> <hr/> <p>(正)</p> <p>表15.3.1 RTDコマンド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">RTD受信データ</th> <th>コマンド</th> <th>RTD機能</th> </tr> <tr> <th>b19</th> <th>b18</th> <th>b17</th> <th>b16</th> <th>ニーモニック</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>VER ( VERify )</td> <td>継続モニタ</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>VER ( VERify )</td> <td>RTD割り込み要求</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>RDR ( ReaD RAM )</td> <td>リアルタイムRAM内容出力</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>WRR ( WRite RAM )</td> <td>RAM内容強制書き替え(ベリファイ付き)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>RCV ( ReCoVer )</td> <td>暴走状態からの復帰 (注2, 注3)</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>システム予約(使用禁止)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)</p> <p>注1. RTD受信データのビット19は、実際にはコマンドレジスタには格納されず、RCVコマンド以外は、Don't Careとなります(ビット16~18がコマンド指定として有効です)。          注2. RCVコマンドは必ず2回連続して送信してください。          注3. RCVコマンドの場合は、ビット16~19以外のビット(ビット0~15, 20~31)をすべて"1"にしてください。</p>	RTD受信データ				コマンド	RTD機能	b12	b13	b14	b15	ニーモニック		0	0	0	0	VER ( VERify )	継続モニタ	0	1	0	0			0	1	0	1			0	1	1	0			0	0	1	0	RDR ( ReaD RAM )	リアルタイムRAM内容出力	0	0	1	1	WRR ( WRite RAM )	RAM内容強制書き替え(ベリファイ付き)	1	1	1	1	RCV ( ReCoVer )	暴走状態からの復帰 (注2, 注3)	0	0	0	1	システム予約(使用禁止)		RTD受信データ				コマンド	RTD機能	b19	b18	b17	b16	ニーモニック		0	0	0	0	VER ( VERify )	継続モニタ	0	1	0	0			0	1	0	1			0	1	1	0	VER ( VERify )	RTD割り込み要求	0	0	1	0	RDR ( ReaD RAM )	リアルタイムRAM内容出力	0	0	1	1	WRR ( WRite RAM )	RAM内容強制書き替え(ベリファイ付き)	1	1	1	1	RCV ( ReCoVer )	暴走状態からの復帰 (注2, 注3)	0	0	0	1	システム予約(使用禁止)	
RTD受信データ				コマンド	RTD機能																																																																																																																					
b12	b13	b14	b15	ニーモニック																																																																																																																						
0	0	0	0	VER ( VERify )	継続モニタ																																																																																																																					
0	1	0	0																																																																																																																							
0	1	0	1																																																																																																																							
0	1	1	0																																																																																																																							
0	0	1	0	RDR ( ReaD RAM )	リアルタイムRAM内容出力																																																																																																																					
0	0	1	1	WRR ( WRite RAM )	RAM内容強制書き替え(ベリファイ付き)																																																																																																																					
1	1	1	1	RCV ( ReCoVer )	暴走状態からの復帰 (注2, 注3)																																																																																																																					
0	0	0	1	システム予約(使用禁止)																																																																																																																						
RTD受信データ				コマンド	RTD機能																																																																																																																					
b19	b18	b17	b16	ニーモニック																																																																																																																						
0	0	0	0	VER ( VERify )	継続モニタ																																																																																																																					
0	1	0	0																																																																																																																							
0	1	0	1																																																																																																																							
0	1	1	0	VER ( VERify )	RTD割り込み要求																																																																																																																					
0	0	1	0	RDR ( ReaD RAM )	リアルタイムRAM内容出力																																																																																																																					
0	0	1	1	WRR ( WRite RAM )	RAM内容強制書き替え(ベリファイ付き)																																																																																																																					
1	1	1	1	RCV ( ReCoVer )	暴走状態からの復帰 (注2, 注3)																																																																																																																					
0	0	0	1	システム予約(使用禁止)																																																																																																																						

M32150F4TFPユーザーズマニュアル正誤表

ページ	箇所		内容																																																																																																																																																																																										
15-5	図15.3.1 RDRコマンド データフォーマット	(誤)	<div style="text-align: center;"> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A29</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A28</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A17</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A16</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">コマンド (RDR)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">指定アドレス</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">注. X = Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>0~11ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <td data-bbox="341 589 395 902">(正)</td> <td data-bbox="400 589 1477 902"> <div style="text-align: center;"> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A29</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A28</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A17</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A16</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">コマンド (RDR)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">指定アドレス</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">注. X = Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>20~31ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> </div> </td>		(LSB側)		(MSB側)		31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0	RTD ←	X	.....	X	0	0	1	0	X	X	A29	A28	.....	A17	A16		└──┘							└──┘								コマンド (RDR)							指定アドレス							(正)	<div style="text-align: center;"> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A29</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A28</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A17</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A16</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">コマンド (RDR)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">指定アドレス</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">注. X = Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>20~31ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> </div>		(LSB側)		(MSB側)		31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0	RTD ←	X	.....	X	0	0	1	0	X	X	A29	A28	.....	A17	A16		└──┘							└──┘								コマンド (RDR)							指定アドレス																																																														
	(LSB側)		(MSB側)																																																																																																																																																																																										
	31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0																																																																																																																																																																															
RTD ←	X	.....	X	0	0	1	0	X	X	A29	A28	.....	A17	A16																																																																																																																																																																															
	└──┘							└──┘																																																																																																																																																																																					
	コマンド (RDR)							指定アドレス																																																																																																																																																																																					
	(LSB側)		(MSB側)																																																																																																																																																																																										
	31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0																																																																																																																																																																															
RTD ←	X	.....	X	0	0	1	0	X	X	A29	A28	.....	A17	A16																																																																																																																																																																															
	└──┘							└──┘																																																																																																																																																																																					
	コマンド (RDR)							指定アドレス																																																																																																																																																																																					
15-7	図15.3.4 WRRコマンド データフォーマット	(誤)	<div style="text-align: center;"> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A29</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A28</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A17</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A16</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">コマンド (WRR)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">指定アドレス</td> </tr> </table>   <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D31</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D30</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">書き込みデータ</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">注1. X = Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>0~11ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> <p style="text-align: center;">注2. 指定アドレス、書き込みデータの転送順序はLSBファーストです。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <td data-bbox="341 1514 395 2063">(正)</td> <td data-bbox="400 1514 1477 2063"> <div style="text-align: center;"> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A29</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A28</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A17</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A16</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">コマンド (WRR)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">指定アドレス</td> </tr> </table>   <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D31</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D30</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">書き込みデータ</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">注1. X = Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>20~31ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> <p style="text-align: center;">注2. 指定アドレス、書き込みデータの転送順序はLSBファーストです。</p> </div> </td> </div>		(LSB側)		(MSB側)		31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0	RTD ←	X	.....	X	0	0	1	1	X	X	A29	A28	.....	A17	A16		└──┘							└──┘								コマンド (WRR)							指定アドレス								(LSB側)		(MSB側)		31	30	.....	1	0	RTD ←	D31	D30	.....	D1	D0		└──┘						書き込みデータ					(正)	<div style="text-align: center;"> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">X</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A29</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A28</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A17</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">A16</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">コマンド (WRR)</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">指定アドレス</td> </tr> </table>   <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(LSB側)</td> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(MSB側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">.....</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">RTD ←</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D31</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D30</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">.....</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">D0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">└──┘</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">書き込みデータ</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">注1. X = Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>20~31ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> <p style="text-align: center;">注2. 指定アドレス、書き込みデータの転送順序はLSBファーストです。</p> </div>		(LSB側)		(MSB側)		31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0	RTD ←	X	.....	X	0	0	1	1	X	X	A29	A28	.....	A17	A16		└──┘							└──┘								コマンド (WRR)							指定アドレス								(LSB側)		(MSB側)		31	30	.....	1	0	RTD ←	D31	D30	.....	D1	D0		└──┘						書き込みデータ				
	(LSB側)		(MSB側)																																																																																																																																																																																										
	31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0																																																																																																																																																																															
RTD ←	X	.....	X	0	0	1	1	X	X	A29	A28	.....	A17	A16																																																																																																																																																																															
	└──┘							└──┘																																																																																																																																																																																					
	コマンド (WRR)							指定アドレス																																																																																																																																																																																					
	(LSB側)		(MSB側)																																																																																																																																																																																										
	31	30	.....	1	0																																																																																																																																																																																								
RTD ←	D31	D30	.....	D1	D0																																																																																																																																																																																								
	└──┘																																																																																																																																																																																												
	書き込みデータ																																																																																																																																																																																												
	(LSB側)		(MSB側)																																																																																																																																																																																										
	31	.....	20	19	18	17	16	15	14	13	12	.....	1	0																																																																																																																																																																															
RTD ←	X	.....	X	0	0	1	1	X	X	A29	A28	.....	A17	A16																																																																																																																																																																															
	└──┘							└──┘																																																																																																																																																																																					
	コマンド (WRR)							指定アドレス																																																																																																																																																																																					
	(LSB側)		(MSB側)																																																																																																																																																																																										
	31	30	.....	1	0																																																																																																																																																																																								
RTD ←	D31	D30	.....	D1	D0																																																																																																																																																																																								
	└──┘																																																																																																																																																																																												
	書き込みデータ																																																																																																																																																																																												

M32150F4TFPユーザーズマニュアル正誤表

ページ	箇所		内容
15 - 9	図15.3.6 VERコマンド データフォーマット	(誤)	<div style="text-align: center;"> <p>( LSB側 ) ( MSB側 )</p> <p>31 ..... 20 19 18 17 16 15 ..... 0</p> <p>RTD ← X ..... X 0 0 0 0 X ..... X</p> <p>コマンド ( VER )</p> <p>注. X=Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>0~11ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> </div> <hr/> <div style="text-align: center;"> <p>( LSB側 ) ( MSB側 )</p> <p>31 ..... 20 19 18 17 16 15 ..... 0</p> <p>RTD ← X ..... X 0 0 0 0 X ..... X</p> <p>コマンド ( VER )</p> <p>注. X=Don't Care (ただしRCVコマンドの直後の場合、<u>20~31ビット</u>はすべて"1"にしてください)</p> </div>
15 - 10	図15.3.9 RCVコマンド動作	(誤)	<div style="text-align: center;"> <p>RTDCLK</p> <p>RTDRXD RCV RCV <u>ビット0~11</u> 1...1 RDR (A1) .....</p> <p>RCVコマンドに続く次のコマンド</p> <p>RTDTXD 暴走状態における不定データ D (A1)</p> <p>RTDACK 暴走状態における不定値</p> <p>RCVコマンド格納</p> <p>注. RCVコマンドに続く次のコマンドの<u>ビット0~11</u>は、すべて"1"にしてください。</p> </div> <hr/> <div style="text-align: center;"> <p>RTDCLK</p> <p>RTDRXD RCV RCV <u>ビット20~31</u> 1...1 RDR (A1) .....</p> <p>RCVコマンドに続く次のコマンド</p> <p>RTDTXD 暴走状態における不定データ D (A1)</p> <p>RTDACK 暴走状態における不定値</p> <p>RCVコマンド格納</p> <p>注. RCVコマンドに続く次のコマンドの<u>ビット20~31</u>は、すべて"1"にしてください。</p> </div>